

清洲市民センター	清洲弁天96番地1	052-409-6471
春日公民館	春日東出8番地2	052-400-2700

生涯学習講座

- ★市内にお住まい又はお勤めの方が対象です。
- ★申込及び問合せは、生涯学習課へお願いします。
- ★新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定が変更となる場合があります。
- ★マスク着用にご協力をお願いします。

天文開放

とき 3月19日(金)
午後7時～8時30分

ところ にしび創造センター
4階天体ドーム

テーマ 「かに座プレゼンテーション」

講師 川村吉弘氏

生涯学習課(南館1階)
☎052-400-2911

高齢者のための教室・講座

- ★申込は各センターへお願いします。
- ★60歳以上の方が対象です。
- ★新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定が変更となる場合があります。
- ★マスク着用にご協力をお願いします。

西枇杷島福祉センター
☎05255027530

生活実用講座

「ポーチ」を作ります。

とき 3月11日(木)
午前9時30分から

ところ 西枇杷島福祉センター

定員 15名
持ち物 針・糸・はさみ

材料費 400円
申込 3月5日(金)
午前9時から



映画を楽しもう

題名 「台風家族」
主演 草薙剛・尾野真千子
とき 3月16日(火)
午前9時30分～11時20分

ところ 西枇杷島福祉センター
定員 25名
参加費 無料
申込 3月5日(金)
午前9時から

西枇杷島生きがいセンター
(にしび創造センター2階)
☎05255046361

おしゃべり横丁(映画鑑賞)

題名 「細雪」
主演 岸惠子・吉永小百合
とき 3月12日(金)
午前9時30分～11時50分

ところ にしび創造センター
3階視聴覚室

定員 20名
申込 3月5日(金)
午前9時から
参加費 無料



わくわく教室

「こいのぼり」を作ります。



とき 3月19日(金)
午前9時30分から
ところ にしび創造センター
2階集会室
定員 20名
持ち物 針・糸・はさみ
材料費 500円
申込 3月5日(金)
午前9時から

スペイン・ヘレス市関連展示

平成6年1月にスペイン・ヘレス市と旧清洲町は姉妹都市提携を結びました。平成17年7月に合併し清須市となった今も、スペインの行事やスペイン語講座などを行っています。現在、本紙においても、「エリのスペインカフェ」と題して、ヘレス市の文化等を紹介しています。

清洲市民センターでは、左記期間に、これまでの記事から抜粋した写真をロビーで展示します。ぜひご覧ください。

展示期間 3月2日(火)～31日(水)
問合せ 生涯学習課(南館1階)



西枇杷島福祉センター	西枇杷島町大野37番地1	052 - 502 - 7530
にしび創造センター	西枇杷島町小田井一丁目12番地1	052 - 504 - 6361



認知症サポーターミーティング

■問合せ 高齢福祉課(北館1階)

市内では延べ8,500名以上の方が、認知症サポーター養成講座を修了し、買物、ウォーキング、犬の散歩、日常のあらゆる場面で見守りやボランティアなどの活動をしています。

認知症になっても安心して地域で生活していくために出来ることは何か、サポーター同士で意見交換をするためのミーティングを開催しますので、ぜひお申し込みください。

申込期間 3月4日(木)から **対象** 認知症サポーター(養成講座を受講した方)
開催時期 5月25日(火) 清洲・春日地区にお住まいの方 午前10時から(1時間程度)
5月26日(水) 西枇杷島・新川地区にお住まいの方 午前10時から(1時間程度)

※申込状況等により、日程を変更する場合があります。詳細は、4月下旬に郵送でご案内します。



認知症サポーターの活動に興味がある方へ

認知症サポーターとして活動するためには、認知症サポーター養成講座を受講していただく必要があります。ご興味がある方は高齢福祉課介護予防係までお問い合わせください。

「日本語ひろば」に参加しませんか?

市国際交流協会では、ボランティアの方々と、かんたんな会話・ひらがな・漢字を学ぶ「日本語ひろば」をひらいています。見学はいつでも大歓迎です。市内の幼児、小学生、中学生、高校生、大学生、専門学校生も来てください。清須市国際交流協会 日本語ひろばのフェイスブックからも「問い合わせ・申し込み」ができます。※ボランティアも募集しています。

とき 4月4日・11日・18日、5月9日・23日・30日、6月6日・13日・20日、7月4日・11日・25日、8月1日・8日・22日の各日曜日 午前10時～11時30分

ところ 清洲市民センター **対象** 清須市とそのちかくに住んでいる外国人

費用 900円(18歳以下は無料)

■問合せ 市国際交流協会(いけやま) ☎090-6463-0131

※この記事は、外国人の方が読みやすい表記にしています。



エリの Café España ～スペインカフェ～ 「Semana Santa」のお菓子

¡Hola! ¿Todo bien? こんにちは！元気ですか？もうすぐ春になりますね。今回はスペインの「Semana Santa」に食べているお菓子について紹介します。

Semana Santa(聖週間)とは、キリストの受難、死、そして復活を記念し、春の最初の満月の日に合わせて、1週間にわたって行われる行事です。年によって開催する日にちが違い、今年は3月28日から4月3日まで開催します。

Semana Santaとその40日前からの期間は、苦行と禁欲の期間とされ、肉を食べることができません。昔は、海から遠い地域は新鮮な魚を食べることが難しかったので、その期間はお菓子から栄養を摂っていたそうです。Semana Santaのお菓子を作り始めたのは、修道院に住んでいた尼僧だといわれています。小麦粉、オリーブオイル、卵と砂糖がベースのお菓子で、スパイスの種類や形によって、さまざまにアレンジされてきました。

ヘレス市のあるカディス州で人気なのは「pestiño」という揚げ菓子です。オリーブオイル、小麦粉とアニスシードで作った生地を薄く伸ばし、5～7cm四方にカットし、両端を真ん中に折り重ねて、たっぷりのオリーブオイルできつね色になるまで揚げて、はちみつをかけて食べるお菓子です。

pestiñoは素朴な味で、かりんとうに似ているといわれています。皆さんもご家庭で作ってみてはいかがでしょうか。



「Semana Santa」のお菓子「pestiño」